



水 すい

蜜 みつ

桃 とう

に

溺

る

る



DOJIN

R18

成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

前書き

ムラサ中心の百合本です！
ムラサが夢の中でお寺の皆と
快樂に溺れるお話です

ムラサはぬえ・一輪・白蓮・
星・ナズ・マミ・響子全員を
性的な意味で愛しています

※生えません

※雲山含め男は出ません

※ナズ→星→白蓮→命蓮要素あり

寺の皆が
大好きだ

たった数十年で
人としての生を終え

昏い水底に
縛られていた私に

手を差し伸べ
居場所を与えてくれた

彩りをくれた
皆のことが

ムラサおかえり！
地獄の妖怪を
倒したんだって？

聖があなたにしか
頼めなかったと…

すごいじゃ
ないですか！

愛おしくて

たまらない

死人である私が
受け入れられる安心感

胸を満たす
高揚感

多幸感

ムラサ...?
調子悪いの?

ううん大丈夫

気にしないで

皆に優しくして
もらった日には
決まって身体が疼く

皆が寝静まった夜

愛しい皆を
思い浮かべながら
熱に身を委ねる

彼女たちと共に

今日も私は
沈みゆくのだ

ぬえ

地底で出会った
正体不明の大妖怪

正体不明をウリに
しているからか

恥ずかしがり屋な
だけなのか

彼女は皆と積極的に
関わろうとはしない

…でも本当は皆ともっと
仲良くしたいんだよね？

ぬえは
どうしたいの？

隠したままで
いたいの？

それとも本当は
暴かれないの？

—そんな
彼女とは

星灯りのもとで
密かに身体を重ねる

誰かに見つかるかも…
なんて恐怖が興奮を煽る

正体不明のくせして
秘密が暴かれる危うさに

こんなに興奮
するなんて

ぬえって本当は

『変態さん』

なのね…♡

一輪

私の
初めての親友

元人間

空と海

同じ青でも
彼女の青は私より
ずっと澄んでいる

誰よりもまっすぐで
恐れを知らない
凛とした瞳が

私には
眩しすぎる



その澄んだ瞳に
見透かされるのが怖い

自分の汚い欲を
彼女にだけは
知られたくない

空想の中ですらも
視線を交わせられない



臆病で卑怯な
自分への自己嫌悪と、



純粹で無垢な彼女を
穢す悦びに浸る



私の欲望を知ったら
一輪はどう思うかな



ごめんね一輪

どうかこれからも

私の歪んだ愛情なんて
知らないままでいて

可愛い一輪

ずっとずっと
私の光でいてね

聖

私の恩人

今の私があるのは
すべて聖のおかげ

誰よりも大切に
誰よりも愛おしい

——でも、彼女の
『一番』は私じゃない

ふわ

ふわ



空想の中の彼女は
よく目を閉じている

ん…っ

う…

はあっ…

…っ、あ

誰を思い浮かべ
てるかなんて

蓮寺

この寺の名前を
考えればすぐに分かる

耳元で『姉さん
囁いてやれば

ひときわ高い
嬌声が漏れる

聖はやっぱり

今もなお—

この寺は今でこそ『寺』の形をしているが

ぽー...

——けれど
その大元は

私が船長だったのに
私の舟だったのに

元は『聖船』だ

『彼の倉』だ

この寺の
成り立ちも

聖が今こうして
生きているのも

その聖に
私が救われたのも

すべては『彼』が
いたからだ

顔も知らない『彼』に

私はきつと
妬いている

星とナズーリン

二人の関係は歪だ

二人で傷を
舐めあっているのを
私は知っている

ナズーリンは星を
星は聖を想っている

誰も幸せになれないのに
誰の想いも報われないのに

なんと切なくて
空しいことか



ねえ

私にしたら？

私ならずっと
一緒にいてあげる

心の底から可愛がって
永遠に愛し続けてあげる

…なんて

言えるはずも

言ったとて
叶うはずの
ないことを

空想の中で
私は二人に
囁くのさ

私がいつまで
傍にいて…

もっと撫でよう
くさ…

船長の前で
するの…

ききかた…

じゅん…

く…
ぐ…

ぐ…
ぐ…



響子とマミゾウ

聖に集う
新たな仲間

佐渡の海の話も
知らない歌の話も

全てが鮮やかで
心が躍る

冷たい海の底には
在り得ない温もりに
包まれながら

二人と共に
啼かせあえたなら

どれほど幸せな
ことかと夢想する

なんて甘美

水蜜桃のように甘い。
皆と愛し合う夢に





只々

耽溺する

ここから離れるつもりも
皆を離すつもりもない

すき、すきな、ちやう♡
なちゅ♡

皆のことが

だいきん

かつて海から
離れられなかった私は

おえっ♡
見てて♡

皆をオカズに
オ十二してイくとニ

今やこの寺から
離れられなく
なつてしまつた

もはや今の私は
念縛靈じゃなくて

この寺の地縛靈
なのかもしれない

…皆も私と
同じ気持ち
なのかな

ほあ

ほっ

くた…

ほあ

ほっ

ずっと一緒にいたいって
思ってくれてるのかな

ああ…

ずっとこの日々が
続けばいいのに…

…いつか

いつか本当に
皆と共に沈めるなら

この手で皆を
沈められたなら

同じ種として

私と永久に
在り続けてくれるかな

後書き

はじめまして、白義といいます
この度はお手に取っていただきありがとうございました
少しでもお楽しみいただけましたら幸いです

夏コミで出したナズ→星→白蓮→命蓮本2冊にちなんだ(?),
ムラサ→命蓮寺メンバー全員！のお話でした
(雲山は…女の子じゃないので雲散させてしまいました)
いろんな組み合わせをちょこちょこ描けたので楽しかったです！
今年は寺組の本を3冊出して、お寺の皆さんをもろもろと描いてきましたが、
ムラぬえの黒髪がダントツで大変でした。次点で星ちゃんの虎メッシュ

ムラサはヤンデレ気味だと嬉しいな～と思いながら話を考えてたら
想定より暗めの終わり方になりました(一緒に溺れたいなEND)
ムラサは水属性といっても、さらさら清涼～な水じゃなくて、
ドロドロねっとりな水属性が似合うよな～と思ってます
お寺の皆と聖輦船にト執着してるムラサがほしい！

次は幽メディ、おきゆか、せいよし、ブラコン聖本あたりを出したいです
来年(2026年)の夏コミか紅楼夢か冬コミに参加したい気持ち

水蜜桃に溺る

はくぎ

はくぎ

白玉アケリア/白義

発行日：2025/10/12. 東方紅楼夢21

[mail] : siratamako763@yahoo.co.jp

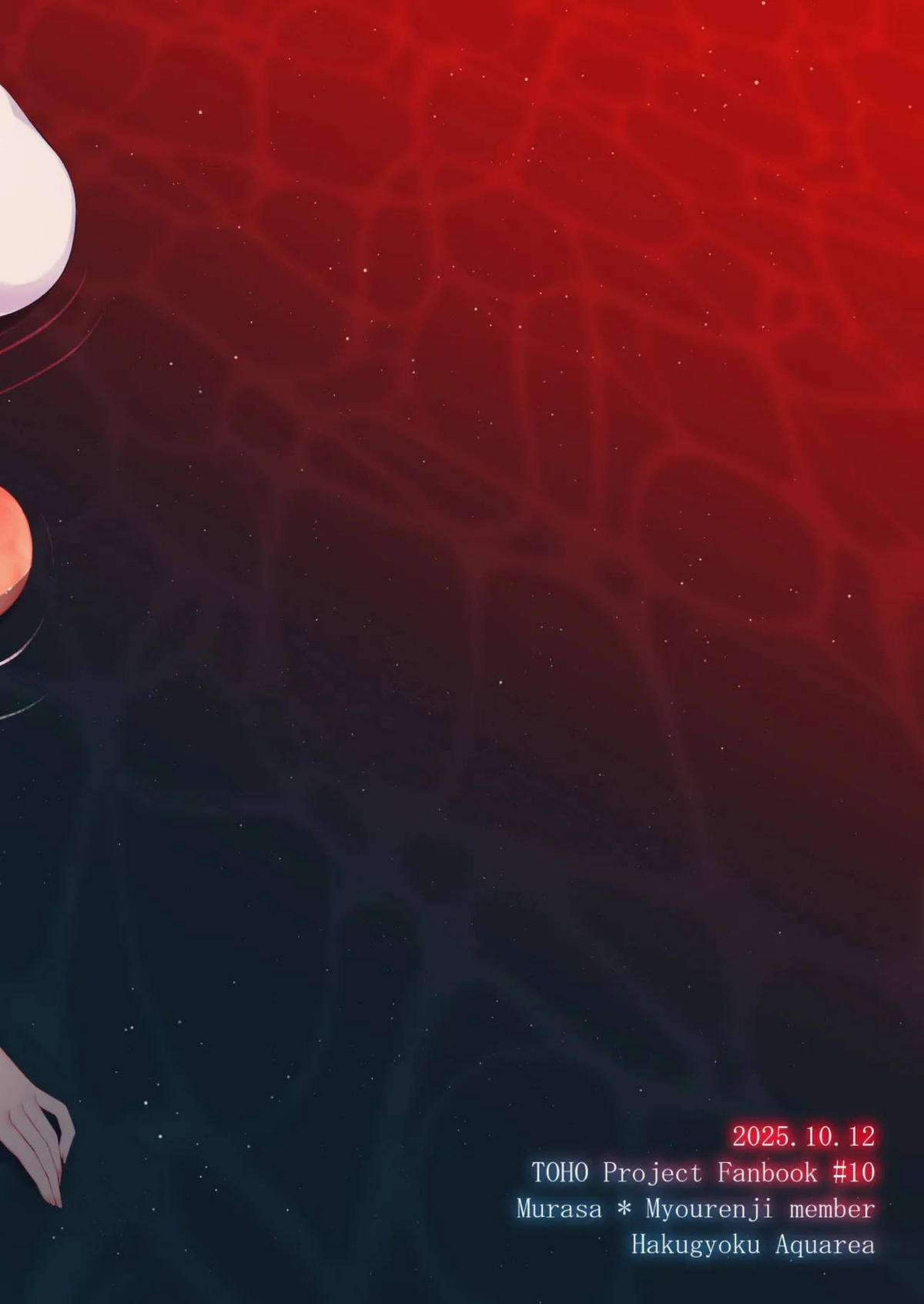
[twitter] : siratamako763

[pixiv] : 557721



◀もしご感想があれば…
Googleフォームに飛びます
(匿名回答です)
ポチポチしていただける
だけでもうれしいです！

印刷：丸正インキ様



2025. 10. 12

TOHO Project Fanbook #10
Murasa * Myourenji member
Hakugyoku Aquarea